

[2020.05.22]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

2020年12月期 第1四半期 決算補足資料



1Q決算のポイント

赤字決算、1Qとしては概ね予定どおりに推移（特別損失を除く）

- 前期からの装置等関連事業の苦戦（半導体市況悪化の影響）が続くと予想していたことから、1Qは計画段階より営業赤字を見込んでおり、概ね予定どおりに推移
- コア事業である情報通信事業のストックビジネスは順調に拡大
- 保有する上場株式の株価下落により投資有価証券評価損84百万円を計上（特別損失）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- 先行きは不透明なものの、ストック型ビジネスへの変化を加速してきたため、ストックビジネスには大きな影響を想定していない
- 情報通信事業は、主要顧客のうち、タクシー・バス・ホテルの事業者が需要減少の影響を受けていることから、新規設備投資の見直し等によりフロービジネスには影響が出る可能性がある
※新たなIoTサービスの開発や柔軟なプライシングによりストックビジネス化をすすめていく方針
- 装置等関連事業については、顧客の設備投資計画の見直しによる受注の期ずれや顧客の受入検査体制次第では納品や検収時期に影響が出る可能性がある

業績ハイライト

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期 1Q累計	2020年12月期 1Q累計	
			前年同期比
売上高	2,704 (100.0%)	2,518 (100.0%)	△6.9%
売上総利益	734 (27.2%)	580 (23.1%)	△20.9%
販売費及び一般管理費	510 (18.9%)	640 (25.4%)	+25.6%
営業利益	224 (8.3%)	△60 (△2.4%)	—
経常利益	232 (8.6%)	△37 (△1.5%)	—
親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益	167 (6.2%)	△166 (△6.6%)	—

損益計算書（四半期累計）

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期				2020年12月期			
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上高	2,704 (100.0%)	4,711 (100.0%)	6,799 (100.0%)	9,504 (100.0%)	2,518 (100.0%)	—	—	—
売上総利益	734 (27.2%)	1,182 (25.1%)	1,628 (23.9%)	2,232 (23.5%)	580 (23.1%)	—	—	—
営業利益	224 (8.3%)	155 (3.3%)	97 (1.4%)	47 (0.5%)	△60 (△2.4%)	—	—	—
経常利益	232 (8.6%)	188 (4.0%)	129 (1.9%)	73 (0.8%)	△37 (△1.5%)	—	—	—
親会社株主に帰属 する当期（四半 期）純利益	167 (6.2%)	104 (2.2%)	40 (0.6%)	52 (0.6%)	△166 (△6.6%)	—	—	—

セグメント別業績

単位：百万円

	2019年12月期					2020年12月期					前年比（1Q累計）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q累計	増減額	増減率
売上高	2,704	2,006	2,088	2,705	9,504	2,518	—	—	—	2,518	△185	% △6.9
情報通信事業	1,244	986	1,134	1,591	4,955	1,597	—	—	—	1,597	+353	% +28.4
装置等関連事業	1,460	1,020	953	1,113	4,548	920	—	—	—	920	△539	% △37.0

単位：百万円

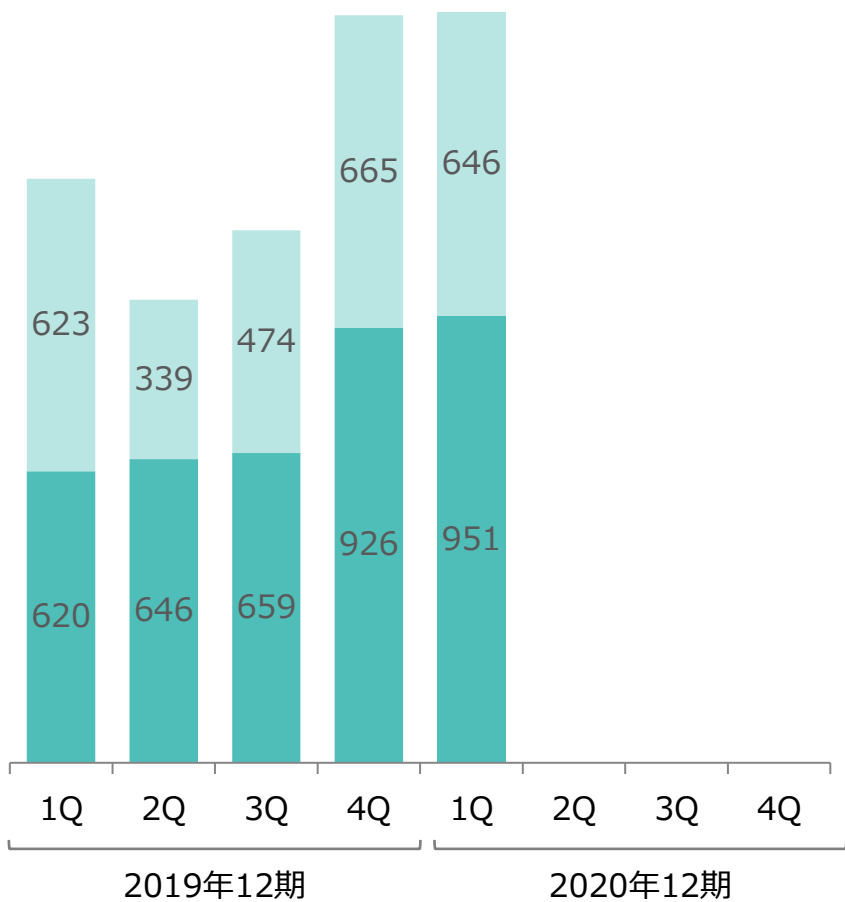
	2019年12月期					2020年12月期					前年比（1Q累計）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q累計	増減額	増減率
営業利益	224	△68	△58	△49	47	△60	—	—	—	△60	△284	—
情報通信事業	157	46	124	△3	325	179	—	—	—	179	+21	% +13.6
装置等関連事業	148	△4	△71	91	162	△114	—	—	—	△114	△262	—
調整額	△81	△110	△110	△137	△441	△124	—	—	—	△124	△42	—

売上高の四半期別推移

情報通信事業

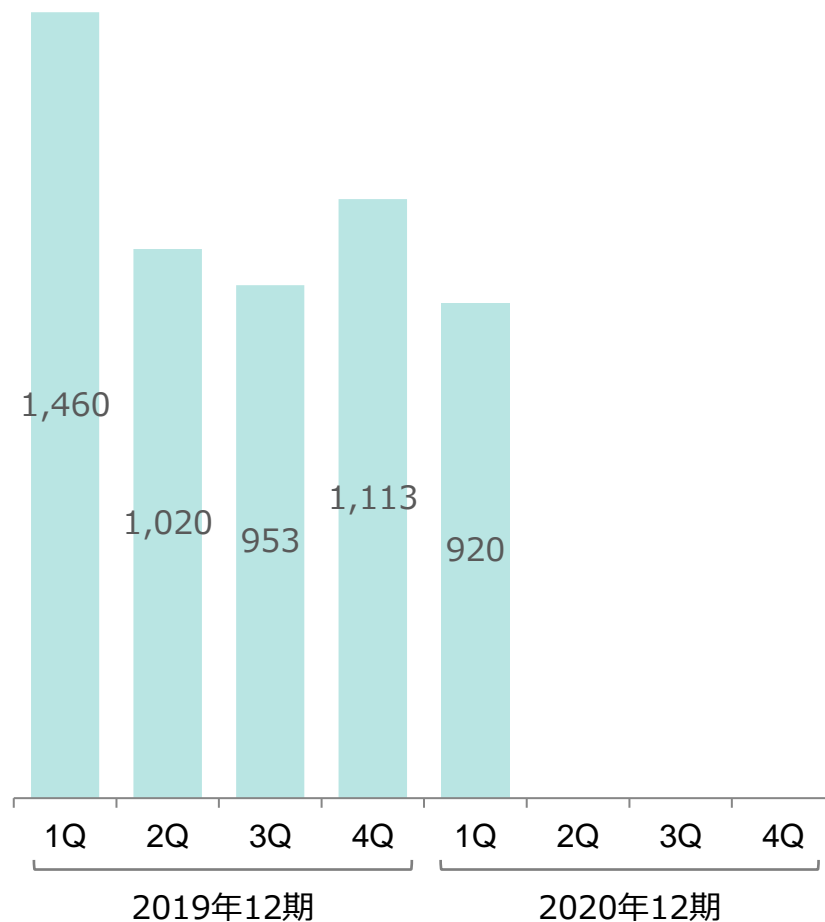
(単位:百万円)

- フロービジネス
- ストックビジネス



装置等関連事業

(単位:百万円)



貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

	2019年12月期末	2020年12月期1Q		主な増減
			増減額	
流動資産	8,450 (64.1%)	8,625 (65.0%)	+175	現金及び預金 △283 受取手形及び売掛金 +139 リース投資資産 +159 たな卸資産 +148
固定資産	4,726 (35.9%)	4,639 (35.0%)	△87	のれん +208 投資有価証券 △350
資産合計	13,177 (100%)	13,265 (100%)	+87	
流動負債	2,796 (21.2%)	3,118 (23.5%)	+321	支払手形及び買掛金 +142 短期借入金 +132
固定負債	2,378 (18.0%)	2,421 (18.3%)	+43	
負債合計	5,175 (39.3%)	5,540 (41.8%)	+365	
純資産	8,002 (60.7%)	7,724 (58.2%)	△277	利益剰余金 △310
負債・純資産合計	13,177 (100%)	13,265 (100%)	+87	

2020年12月期計画に対する進捗率

単位：百万円／下段は売上比

	2020年12月期 1Q実績	2020年12月期計画			
		2Q累計		通期	
			Q1進捗率		Q1進捗率
売上高	2,518 (100.0%)	5,220 (100.0%)	48.2%	11,000 (100.0%)	22.9%
売上総利益	580 (23.1%)	1,531 (29.3%)	37.9%	3,337 (30.3%)	17.4%
営業利益	△60 (△2.4%)	124 (2.4%)	—	500 (4.5%)	—
経常利益	△37 (△1.5%)	122 (2.4%)	—	492 (4.5%)	—
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	△166 (△6.6%)	78 (1.5%)	—	306 (2.8%)	—



【 連絡先 】 F I G株式会社 社長室
【 住 所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。